

最先端研究装置とデータの共有が創出するマテリアル研究

～マルチマテリアル化技術・次世代高分子マテリアル 重要技術領域セミナー～

2024年1月17日 Wed

13:30~17:30 (交流会 17:45~)

京都大学 吉田キャンパス
百周年時計台記念館 国際交流ホール I<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r-y> (構内マップ3番)

ハイブリッド型式 オンサイト+Zoom配信

参加登録フォーム <https://forms.gle/sFESvD9LnDH6QkqJ9> 1/12(金)まで

京都大学、山形大学、大阪大学、奈良先端科学技術大学院大学は、令和3年度からスタートした文部科学省委託事業である「マテリアル先端リサーチインフラ事業(ARIM)」の一環として、技術セミナー『最先端研究装置とデータの共有が創出するマテリアル研究』を2024年1月17日(水)に京都大学にて開催いたします。

最新の研究動向の講演に加え、ARIM利用者の方からの利用事例の紹介、各機関からの加工プロセス、計測、分析技術などの特徴ある支援技術についても紹介致します。

産官学いずれのご所属の方にも奮ってのご参加をお待ちしております。

13:30 はじめに 土屋 智由(京都大学ARIM責任者/ナノテクノロジーハブ拠点 ユニット長)

13:35 研究動向 「電子顕微鏡による遷移金属酸化物の電子状態解析」
治田 充貴 (京都大学 化学研究所 附属先端ビームナノ科学センター 准教授)14:05 研究動向 「多成分系・化学反応型ポリマーアロイのレオロジー特性の解析(仮)」
西 栄一 (AGC株式会社 化学品カンパニー・プロフェッショナル)14:35 研究動向 「細胞膜の構造・機能を制御するバイオミメティック高分子の探索」
安原 主馬 (奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 准教授)

15:05 休憩

15:30 ARIM利用事例 「リソグラフィによるナノアンテナ作製と蛍光制御への応用」
村井 俊介 (京都大学 工学研究科 材料化学専攻無機材料化学講座 助教)15:55 ARIM利用事例 「サブTHz超音波への応用とナノ音響レンズの作製」
長久保 白 (大阪大学 大学院工学研究科 助教)16:20 支援技術紹介 ARIM事業概要説明
各機関の支援技術の紹介 岸村 眞治 (京都大学)
武田 敬子 (山形大学)
市川 聡 (大阪大学)
西川 嘉子 (奈良先端科学技術大学院大学)

17:25 おわりに

17:45 交流会 (19:00まで)

京都大学 学際融合教育研究推進センター ナノテクノロジーハブ拠点

京都市左京区吉田本町 工学部物理系校舎327号室

Tel: 075-753-5231 / Mail: arim-ku-event@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp参加費無料
交流会3,000円